

# ナゴヤを面白がる人を増やしたい

— 『特定非営利活動法人 大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク(大ナゴヤ大学)』 —

2009年に東京のシブヤ大学の姉妹校として誕生した「大ナゴヤ大学」。「新しい生涯学習のカたちをつくりたい」と「誰もが先生、誰もが生徒」をモットーに、さまざまな授業を行ってきた。現在のスローガンは「ナゴヤを面白がる人を増やしたい」。20代～40代の若いボランティアスタッフが活躍している大ナゴヤ大学の秘密を、学長の加藤幹泰さんにうかがった。

自分の街についてしゃべれるとカッコイイ!

学長の加藤さんが大ナゴヤ大学に関わったのは2011年ごろ。大ナゴヤ大学の授業への参加やボランティアスタッフを経て、2013年に初代学長・加藤慎康さんからバトンタッチされ、学長に就任した。加藤さんはもともと「人」が好きで、人材に関わるビジネスに携わっていた。最初は名古屋が好きではなかったが、自分の街を知りたいという思いから、自分の街についてしゃべれるとカッコイイと思うようになった。「その方がモテると思って」と笑う加藤さん。地元名古屋を離れ、海外や大阪での生活を経験していた加藤さんにとって「街の歴史や文化をしゃべれる人はカッコイイ!」というイメージがあったそうだ。

「まちづくり」は「人づくり」

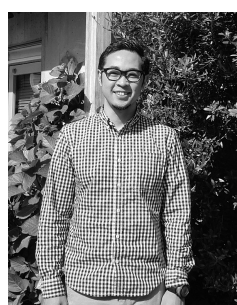
人に焦点を当てたまちづくりを進めている大ナゴヤ大学は、2013年に授業の企画をつくるコーディネーターを育成する講座を始めた。現在活躍している授業コーディネーターは15人程で、それぞれが興味を持ったテーマで授業を企画しているという。165人の登録があるボランティアスタッフは、レポート係やカメラマンなど、それぞれの授業に応じて、さまざまな役割を担っている。また、昨年秋からはボランティアスタッフ自身が企画し、「ツキイチBAR」というボランティアスタッフ同士が交流する場を開催している。最近では授業に参加した生徒が、授業を運営しているボランティアスタッフに魅力を感じて、ボランティアスタッフへ応募することも多いそうだ。

加藤さんは「街に関わる人が増えていくのを見るのが僕のやりがい。ボランティアスタッフが増えるということは、街に対して能動的な人が増えるということ。ボランティアという意識がなく、楽しい場に来ているという意識の人もいるかもしれない」と嬉しそうに話していた。

自分の友達をもてなす感じで

昨年、大ナゴヤ大学が関わった事業に名古屋市の文化・歴史を発信する「やっとかめ文化祭」のボランティアのコーディネートがあった。名古屋に来てもらう人を増やすこともまちづくりの一つだと思つと加藤さん。ボランティアスタッフへの業務説明では、「自分の友達をもてなす感じでおもてなししてください」とのみ伝えたそうだ。ボランティア自身が面白がり、知りたいと思ひ、その知的好奇心が参加者に伝わることで好循環が続く。

最後に「今後はどんな授業をしたいですか?」と加藤さんに尋ねたところ、「学びとコミュニケーションをキーワードにした授業をつくっていきたい」と答えが返ってきた。たしかに大学までは学ぶ場所があつても、社会人になると学ぶ場が予想以上に少ない。また職場とプライベート以外で多様な人とコミュニケーションをとる機会が少ない。大ナゴヤ大学は名古屋をより楽しもうとする人にとつてはとてもし場だと思つ。ナゴヤを面白がる人を増やしていくことで、名古屋がより魅力的な街になり、イキイキと暮らす人が増える期待を感じながら、取材は終了した。



学長の加藤さん

## Information

特定非営利活動法人 大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク(大ナゴヤ大学)  
 TEL: 070-5459-8213(代表)  
 FAX: 052-262-6658  
 E-mail: dai-nagoya@univnet.jp  
 Website: http://dai-nagoya.univnet.jp/

# GO!GO! ボランティア 第8回 恵美子が行く!

## 得意なことで地域に貢献!



鈴木恵美子さんよりボランティアをしているという意識はありません。興味のあること、楽しいことをみんなと一緒にやっているだけ。人のために役立ちたい、お世話したいではなく、自由に楽しんでやるのが大切だと思います。

### ある日の恵美子さんの1日

8:30～9:30 「藤江寿会体操クラブ」でリーダーとして体操指導  
 10:00～12:00 健康体操教室「ハローフレンズ・イノア」でリーダーの勉強  
 午後 自由時間(家事、庭の手入れなど)  
 19:00～21:00 健康体操同好会「秋桜」でリーダーとして体操指導

体操を始めたきっかけは、地域の公民館で開かれた体操の講座に参加したことです。気分転換に体を動かしたくて、当時、入園前の次男を連れて通いました。それから30年以上も体操を続けていますので、いつの間にか、リーダーとして皆さんのお世話をさせていただくようになりました。

地域の皆さまに、いつまでも楽しく元気に過ごしてほしいという思いで、愛知県と東浦町の健康づくりリーダーに登録しています。

現在の活動の対象は、主に高齢の方々です。デイサービスや老人いこいの家、ふれあいセンターや体育館などで活動しています。ストレッチ、筋力トレーニング、リズム体操、認知症予防体操、ロコモ予防体操(1)、よい姿勢づくりなどをしています。最年長の方は90歳で、30年のお付き合いです。毎週の体操を楽し

しみに、歩いて会場まで来られます。「私の元気は体操のおかげ」とおっしゃいますが、逆に私のほうも元気をもらっています。

また、私は健康体操教室「ハローフレンズ・イノア」に所属し、自分自身の体力づくりや体操について勉強しています。今年7月には、世界体操祭(2)がスウェーデンのヘルシンキで開催されます。長年続けてきた自分へのご褒美として、この祭典に参加するために、わくわくしながら練習に励んでいます。いろいろな国の人たちとの交流も楽しみにしています。

これまで体操を通して、いろいろな人と知り合い、友達になり、いつの間にか30年以上が経ちました。これからも体力が続く限り、家族や周りの人たちに感謝しつつ、活動を続けていきたいと思っています。



1 ロコモ... 運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態を「ロコモティブシンドローム(略称:ロコモ)」と言い、進行すると介護が必要になるリスクが高くなります。  
 2 世界体操祭... 4年に1度開催される世界最大の体操イベント。メダルを争う競技ではなく、100人から1000人でグループを作り演技を行います。世界各国から、人種・民族・年齢・性別などを超えて、多くの参加者が集います。